

# 死別とグリーフに向き合う―他者へのケアとセルフケア

東京大学グローバル・コミュニケーション「死生学の展開と組織化」ワークショップ

「死別とグリーフに向き合う―他者へのケアとセルフケア」

2008年2月22日[金] 9:30-16:30

東京大学本郷キャンパス山上会館二階大会議室

# 「死別とグリーフに向き合う —他者へのケアとセルフケア—

愛する人を喪ったときのショック、その後襲われる喪失感や絶望、

そして様変わりした人生と直面するおののき—

こうした死別に伴うあらゆる反応を総じて「グリーフ」と呼びます。

このワークショップでは、米国のグリーフ研究では第一人者である、キャロル・ウォグリン教授をお招きし、自分のグリーフとの向き合い方、他者のグリーフとの関わり方、さらに医療者など専門家の課題として、いかに患者の家族や遺族のニーズに対応するか、などについてお話いただきます。

死別とグリーフについて学びを深めたい方々の、多くのご参加をお待ちしております。

## 講師 キャロル・ウォグリン教授 逐次通訳あり

[米国マウント・アイダ大学国立デス・エデュケーション・センター長]

司会:山崎浩司[東京大学]、鈴木剛子[グリーフ・カウンセリング・センター]

## 日時 2008年2月22日[金] 9:30-16:30

[9:00 開場、途中入退場可]

場所:東京大学本郷キャンパス山上会館二階大会議室

入場:無料 定員:100名[申込は先着順にて定員になり次第、締め切らせていただきます]

対象:死別とグリーフを中心とした死生の問題に関心のある市民、専門家、研究者、学生、業者など

## プログラム

09:30-09:40 開会のご挨拶 [島園進 東京大学グローバル COE「死生学の展開と組織化」拠点リーダー]

09:40-11:30 第1部 死別とグリーフについて学ぶ—実態に即した正しい理解に向けて

11:30-12:30 昼食

12:30-14:20 第2部 グリーフの複雑化—ハイ・グリーフの予測と早期介入

14:20-14:30 休憩

14:30-16:20 第3部 グリーフ介入と支援者のバーンアウト(燃え尽き)について

16:20-16:30 閉会のご挨拶 [鈴木剛子 グリーフ・カウンセリング・センター代表]

※昼食は、会場の山上会館1階のレストランをご利用いただくか、キャンパス内にありますコンビニエンスストアなどをご利用いただけます。

## お申し込み

email:[griefworkshop@gmail.com](mailto:griefworkshop@gmail.com)までお申込みください。

件名を「ワークショップ参加希望」とし、お名前・ご職業を明記のうえお送りください。

お問合せはemail:[griefworkshop@gmail.com](mailto:griefworkshop@gmail.com)

またはTel・FAX:03-5841-2656にてお伺いいたします。